

3/21 (木・祝) 震災から8年 トークイベント



# — 逆境を乗り越えた復興の軌跡 —

2019年3月11日、東日本大震災から8年を迎えます。AAR Japan[難民を助ける会]は、発災直後から岩手県、宮城県、福島県の被災者支援を続けています。なかでも注力してきたのが、災害時に必要な支援へのアクセスが限られている障がいのある方々への支援です。1日でも早く日常を取り戻せるように、そして、震災前よりもよき状態を目指した復興に、ともに取り組んできました。

そのなかには、2011年3月の被災当初、建物が損壊して活動拠点を失ったり、それまでの顧客や販路が減っていき、運営の危機に直面したものの、現在では利用者の工賃を向上させるなど、震災前よりも安定的な運営を実現した福祉施設があります。

震災後に AAR と共同で開発した商品が地域の物産展で入賞するなど、地元の人々に愛されるだけでなく、全国からの注文も増えるなど目に見える成果を出しています。



新築した施設で、今後の活動に向けて元気づく声をあげる利用者の方々(2017年6月24日、岩手県大船渡市の福祉施設@かたつむり)

本報告会では、岩手、宮城、福島からこのような福祉施設職員の方をお招きし、再起のきっかけや、どのような取り組みが成果をもたらしたのかお話をいただきます。また、ともに新商品の開発などを進めてきた AAR 職員の浅野武治と高木卓美が、被災者支援の概要などをお伝えします。

## ●●登壇者●●



**吉田 富美子氏**  
【岩手県】非営利型  
一般社団法人「かた  
つむり」創設者



**星野 幸氏**  
【宮城県】就労継続支  
援B型事業所「ポケ  
の森」副管理者



**岡部 早苗氏**  
【福島県】就労継続支援  
A型事業所「sweet hot  
(スイートホット)」管理者



**浅野 武治**  
AAR 東京事務局  
東北事業担当



**高木 卓美**  
AAR東京事務局  
東北事業担当

震災の影響で仕事が減り、自信や生きがいを失うなど困難な状況に見舞われながらも、そこから立ち直った被災者の軌跡をともに振り返り、今後活かせることは何か、それぞれの立場でともに考えませんか。

【日 時】2019年 3月21日 (木・祝) 13:00 - 15:00

【会 場】JICA 地球ひろば セミナールーム 600 (東京都新宿区市谷本村町 10-5)

JR 中央線・総武線「市ヶ谷駅」徒歩 10 分、東京メトロ有楽町線・都営地下鉄新宿線「市ヶ谷駅」  
A1 番 / 4 番出口徒歩 10 分、東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷駅」6 番出口徒歩 8 分

【参加費】1,000 円 【定 員】70 人 (先着順、要事前申し込み)

▶手話通訳、要約筆記、点字資料などの情報保障をご希望の方は、恐れ入りますが、3月5日(火)までにお電話もしくは AAR ホームページの申し込みフォームの「ご希望の情報保障欄」にてお知らせください。

▶報告会で聞きたいことがありましたら、お申し込み時にお知らせください。時間の制約により、いただいたすべてのご要望・ご質問にお答えできない可能性があります。ご了承ください。

主催・お申し込み AAR Japan [難民を助ける会] 担当:園城 (おんじょう)

○HP : [www.aarjapan.gr.jp](http://www.aarjapan.gr.jp) (HP またはお電話にてお申し込みください)

○TEL : 03-5423-4511 (電話受付時間: 月~土 10:00 ~ 18:00)